

結果の概要

I 全国人口

1 人口の動向

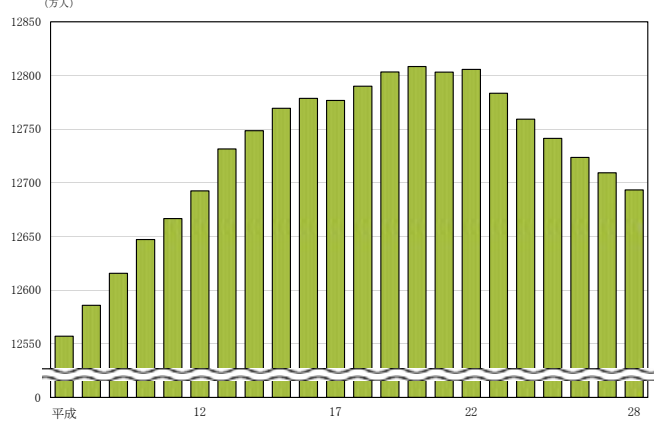
総人口は16万2千人の減少、日本人人口は減少幅が6年連続で拡大

平成28年10月1日現在の総人口は1億2693万3千人で、27年10月から28年9月までの1年間に16万2千人(0.13%)の減少となった。

我が国の総人口は平成17年に戦後初めて前年を下回った後、20年にピークとなり、23年以降、継続して減少している。平成28年は16万2千人の減少と6年連続で減少した。

日本人人口は1億2502万人で、前年に比べ29万9千人(0.24%)の減少となり、減少幅は6年連続で拡大している。

図1 総人口の推移(平成7年～28年)



(図1, 表1, 図2, 表2)

表1 総人口及び日本人人口の推移(平成22年～28年)

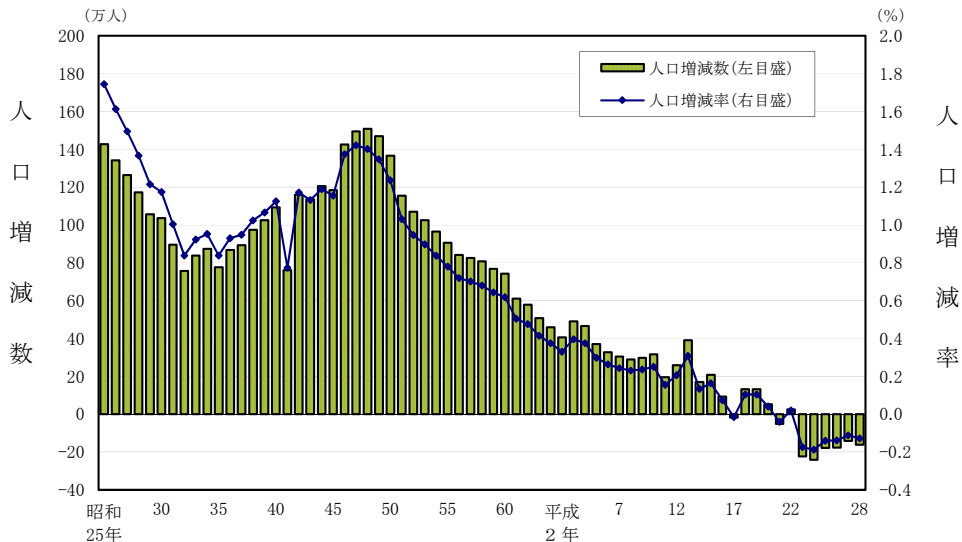
年次	総人口			日本人人口		
	10月1日現在 人口(千人)	増減数 ¹⁾ (千人)	増減率 ²⁾ (%)	10月1日現在 人口(千人)	増減数 ¹⁾ (千人)	増減率 ²⁾ (%)
平成22年	128,057 ³⁾	26	0.02	126,382 ³⁾	38	0.03
23	127,834	-223	-0.17	126,210	-172	-0.14
24	127,593	-242	-0.19	126,023	-187	-0.15
25	127,414	-179	-0.14	125,803	-220	-0.17
26	127,237	-177	-0.14	125,562	-241	-0.19
27	127,095 ³⁾	-142	-0.11	125,319 ³⁾	-243	-0.19
28	126,933	-162	-0.13	125,020	-299	-0.24

注1) 平成27年までの増減数には補間補正数(平成22年国勢調査人口を基に算出した人口推計と、27年国勢調査人口との差を各年に均等配分して算出したもの)を含む。

2) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口(期間初めの人口=期首人口)で除したもの

3) 国勢調査人口。日本人人口は、総人口に対する日本人人口の割合であん分した国籍不詳を含む。

図2 総人口の人口増減数及び人口増減率の推移(昭和25年～平成28年)



注) 人口増減率は、前年10月から当年9月までの人口増減数を前年人口(期首人口)で除したもの

表2 総人口の推移（平成2年～28年）

(単位 千人)

年次	10月1日 現在人口	人口増減（前年10月～当年9月）									
		純増減 ¹⁾		自然動態 ²⁾			社会動態 ³⁾				
		増減数	増減率(%) ⁴⁾	出生児数	死亡者数	自然増減	入国者数	出国者数	社会増減	日本人	外国人
平成2年	123,611 ⁵⁾	406	0.33	1,241	824	417	11,303	11,301	2	-30	32
3	124,101	490	0.40	1,224	829	394	11,168	11,130	38	-19	57
4	124,567	466	0.38	1,228	854	374	12,720	12,685	34	-7	41
5	124,938	370	0.30	1,205	882	322	12,398	12,408	-10	-17	8
6	125,265	327	0.26	1,229	877	351	13,982	14,064	-82	-76	-6
7	125,570 ⁵⁾	305	0.24	1,222	925	297	15,653	15,703	-50	-50	0
8	125,859	289	0.23	1,203	896	307	17,375	17,388	-13	-35	23
9	126,157	297	0.24	1,209	921	288	17,974	17,960	14	-42	56
10	126,472	315	0.25	1,215	933	282	17,028	16,990	38	-2	40
11	126,667	195	0.15	1,198	985	212	17,237	17,249	-12	-43	30
12	126,926 ⁵⁾	259	0.20	1,194	968	226	18,462	18,424	38	-50	88
13	127,316	390	0.31	1,185	966	219	19,266	19,120	146	66	79
14	127,486	170	0.13	1,176	981	195	16,321	16,372	-51	-104	53
15	127,694	208	0.16	1,138	1,023	115	15,038	14,970	68	3	65
16	127,787	93	0.07	1,126	1,024	103	17,673	17,709	-35	-77	42
17	127,768 ⁵⁾	-19	-0.01	1,087	1,078	9	18,951	19,004	-53	-103	50
18	127,901	133	0.10	1,091	1,090	1	2,836	2,835	1	-60	61
19	128,033	132	0.10	1,102	1,104	-2	2,882	2,879	4	-75	79
20	128,084	51	0.04	1,108	1,142	-35	2,864	2,908	-45	-110	65
21	128,032	-52	-0.04	1,087	1,146	-59	3,114	3,237	-124	-77	-47
22	128,057 ⁵⁾	26	0.02	1,083	1,188	-105	2,840	2,840	0	4	-4
23	127,834	-223	-0.17	1,074	1,256	-183	2,686	2,765	-79	-28	-51
24	127,593	-242	-0.19	1,047	1,248	-201	2,757	2,836	-79	-23	-56
25	127,414	-179	-0.14	1,045	1,277	-232	2,796	2,782	14	-23	37
26	127,237	-177	-0.14	1,022	1,274	-252	2,911	2,874	36	-23	60
27	127,095 ⁵⁾	-142	-0.11	1,025	1,301	-275	3,080	2,985	94	-1	95
28	126,933	-162	-0.13	1,004	1,300	-296	3,361	3,228	134	-2	136

注1) 平成27年までの純増減には補間補正数を含む。このため、純増減は自然増減と社会増減の計とは一致しない。

2) 「人口動態統計」(厚生労働省)による。

3) 「出入国管理統計」(法務省)による。平成17年までの日本人については、海外滞在90日以内の入国者数、出国者数を含めている。

4) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口(期首人口)で除したもの

5) 国勢調査人口

男性は9年連続、女性は6年連続の減少

総人口を男女別にみると、男性は6176万6千人(総人口に占める割合48.7%)で、前年に比べ7万6千人(0.12%)減少と9年連続の減少、女性は6516万7千人(同51.3%)で8万6千人(0.13%)減少と6年連続の減少となった。

人口性比(女性100人に対する男性の数)は94.8となっており、女性が男性より340万2千人多くなっている。

(表3)

表3 男女別総人口の推移(平成12年～28年)

(単位 千人)

年次	男						女						人口性比
	10月1日 現在人口	純増減 ¹⁾		自然 増減	社会 増減	補間 ³⁾ 補正数	10月1日 現在人口	純増減 ¹⁾		自然 増減	社会 増減	補間 ³⁾ 補正数	
		増減数	増減率(%) ²⁾					増減数	増減率(%) ²⁾				
平成12年	62,111 ⁴⁾	94	0.15	85	-2	11	64,815 ⁴⁾	165	0.26	141	40	-16	95.8
13	62,265	155	0.25	81	-2	21	65,051	236	0.36	138	94	4	95.7
14	62,295	30	0.05	69	-60	21	65,190	140	0.21	126	10	4	95.6
15	62,368	73	0.12	28	23	21	65,326	136	0.21	87	45	4	95.5
16	62,380	12	0.02	22	-31	21	65,407	80	0.12	81	-5	4	95.4
17	62,349 ⁴⁾	-31	-0.05	-25	-28	21	65,419 ⁴⁾	12	0.02	34	-25	4	95.3
18	62,387	38	0.06	-26	7	57	65,514	95	0.14	27	-6	73	95.2
19	62,424	37	0.06	-25	6	57	65,608	95	0.14	23	-2	73	95.1
20	62,422	-2	-0.00	-41	-18	57	65,662	53	0.08	6	-27	73	95.1
21	62,358	-64	-0.10	-55	-67	57	65,674	12	0.02	-5	-57	73	95.0
22	62,328 ⁴⁾	-30	-0.05	-74	-13	57	65,730 ⁴⁾	56	0.09	-31	13	73	94.8
23	62,207	-120	-0.19	-108	-37	25	65,627	-103	-0.16	-75	-42	14	94.8
24	62,080	-128	-0.21	-116	-37	25	65,513	-114	-0.17	-85	-42	14	94.8
25	61,985	-95	-0.15	-129	9	25	65,429	-84	-0.13	-103	5	14	94.7
26	61,901	-84	-0.14	-136	27	25	65,336	-93	-0.14	-115	9	14	94.7
27	61,842 ⁴⁾	-59	-0.10	-147	63	25	65,253 ⁴⁾	-83	-0.13	-128	31	14	94.8
28	61,766	-76	-0.12	-156	79	-	65,167	-86	-0.13	-140	54	-	94.8

注1) 前年10月から当年9月までの増減数

2) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口(期首人口)で除したもの

3) 国勢調査人口を基に算出した人口推計と、その次の国勢調査人口との差を各年に均等配分して算出したもの

4) 国勢調査人口

10年連続の自然減少，減少幅は拡大

自然増減（出生児数－死亡者数）をみると，出生児数は，第2次ベビーブーム期（昭和46年～49年）以降は減少傾向が続いており，平成28年は100万4千人で前年に比べ2万1千人の減少となった。一方，死亡者数は，130万人で前年に比べ1千人の減少となった。

この結果，出生児数が死亡者数を29万6千人下回り，10年連続の自然減少となり，減少幅は拡大している。男女別にみると，男性は12年連続，女性は8年連続の自然減少となった。

（表2，表3，図3，図4）

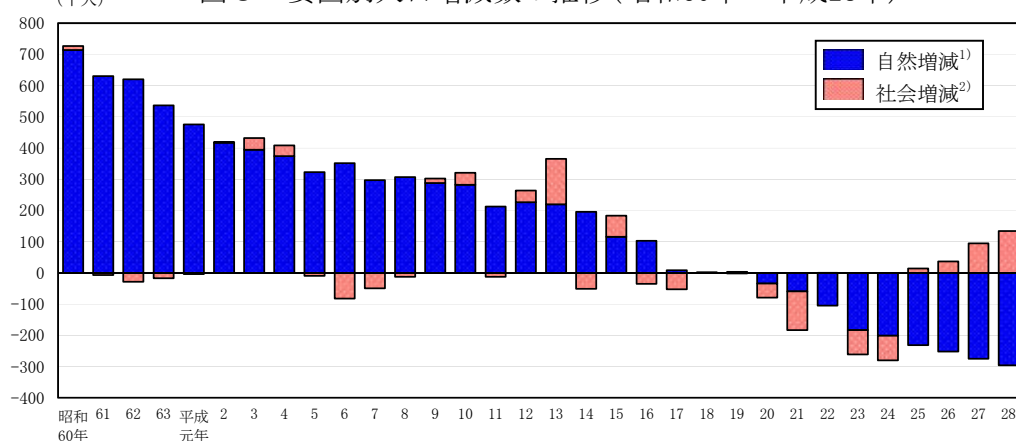
日本人は6年連続の社会減少，外国人は4年連続の社会増加

社会増減（入国者数－出国者数）をみると，入国者数は336万1千人で前年に比べ28万2千人の増加，出国者数は322万8千人で前年に比べ24万2千人の増加となった。この結果，入国者数が出国者数を上回り，13万4千人の社会増加となった。男女別にみると，男性・女性共に4年連続の社会増加となっている。

これを日本人・外国人の別にみると，日本人は2千人の社会減少，外国人は13万6千人の社会増加となった。日本人は6年連続の社会減少，外国人は4年連続の社会増加となり，外国人の増加幅は拡大している。

（表2，表3，図3）

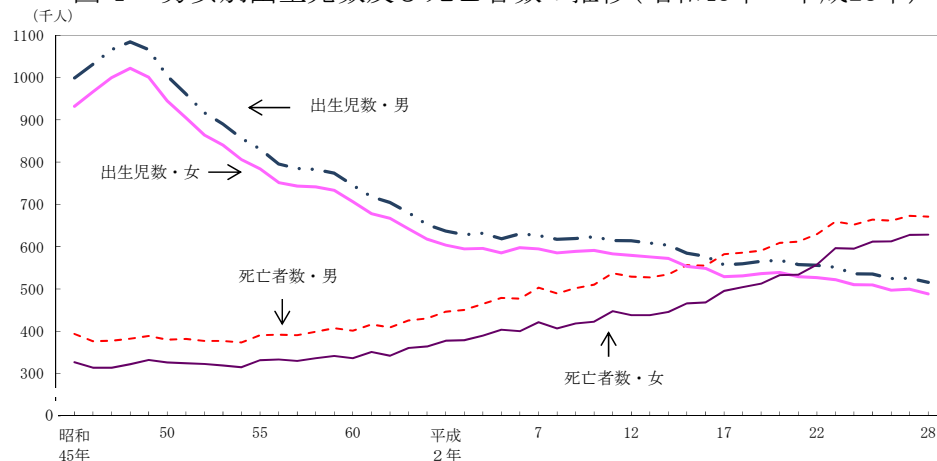
図3 要因別人口増減数の推移(昭和60年～平成28年)



注1) 「人口動態統計」(厚生労働省)による。

2) 「出入国管理統計」(法務省)による。平成17年までの日本人については，海外滞在90日以内の入国者数，出国者数を含めている。

図4 男女別出生児数及び死亡者数の推移(昭和45年～平成28年)



注) ・「人口動態統計」(厚生労働省)による。

・昭和45年, 46年は沖縄県を含まない。